



お店屋さんごっこ

3歳児うさぎ組

R1、10、24

月刊絵本の一番後ろのページには、毎月食べ物が載っています。みんなで絵本を見ている時、「お店屋さんごっこしたいね」という話になり始まった活動。3日間にわたり、何のお店にするか決める→食べ物を作る→お店屋さんごっこをするという内容で、行いました！！

はじめにみんなでどんなお店があるか考えました。子ども達からは、「アイス屋さん」「魚屋さん」「パン屋さん」など、普段お当番をやっているグループのマークから連想する子が多く、子ども達から出てきました。

子「いちご屋さん！」

「バナナ屋さん！」

保「いちごとバナナが売っているお店は？」

子「くだもの屋さん！」

保「野菜が売っているお店の名前分かるかな？」

子「やさい屋さん？」

保「八百屋さんっていうんだよ」

子「うーん、わかんない」

この他にも少しずついろんな意見が出てくるようになりました。そんな中、八百屋さんは今はほとんど見かけることがないため、イメージがつかないということも！確かに今はスーパーなどで買うことが多いですね！

では早速グループで話し合っ、何のお店にするか決めてみましょう！みんなの意見はまとまるのかな？という思いもありましたが、自分の意見を話すことが今回のねらい。そして2日目。イメージを形にすることをテーマに、様々な廃材や画用紙などの材料を用意し、何を使って作るかグループの友達と保育者と一緒に考え、製作開始！さて、各グループどうなったかというところ…



「いちごのお店がいい！」とSくん。保「いちごが売っているくだもの屋さんはどう？」と話すと、みんな目をキラキラさせて「そうする！」と、くだもの屋さんですぐ決まりました！お姉さんにも協力してもらい、お花紙を丸めていちごを作り、緑の画用紙を切ってヘタをくっつけました！



グループの3人が「パン屋さんにするー！」と話す中、「くじ屋さんがいい！」と意見が分かれました。くじをひいてパンをもらおう、パンの中にくじを入れるなど提案しましたが、「くじを引いた人がおもちゃをもらえるのがいいんだもん」と。保「パンを買った人がくじをひいておもちゃをもらえるのは？」とそれで納得！くじを作る人、パンを作る人に分かれ、くじは画用紙で、パンはお花紙と画用紙を使って作りました。



ぱんグループ



楽しみだね！



アイスグループ

「おかし屋さん」「ケーキ屋さん」「アイス屋さん」「タピオカのアイス作る！」全員意見がバラバラ。自分の意見を譲らずプチバトル勃発！！保「ケーキもアイスもタピオカアイスも売っているおかし屋さんは？」とみんなの意見を取り入れると納得！急にみんな仲良しに(笑)お花紙を使ってわたパチ製作、カップに紙をお花紙を入れてアイス、タピオカのジュースも丸い玉を入れて作りました！

「バナナ屋さんがいい!」「アイス屋さんにするー!」保「バナナ味のアイスはどう?と話すと「それ作りたい!」と。意見は分かれましたが、すぐに決まりました。何を使って作るか決める時は、高校生のお姉さんにも協力してもらい、一緒に考えましたよ!カップを利用して、たくさんのアイスを作ることに決めました!



カップに入れて作る!

バナナグループ

チョコのケーキ作りたい!



ぶどうグループ

「ぶどう屋さんがいい!」「ケーキ屋さん!」と。保「ぶどうとクリームがのったケーキはどう?」と話すと「クリームはいいや。ゼーんぶ、ぶどうのせる!」と。このグループも意見は分かれましたが、すぐに決まりました!紙皿を反対にして、ぶどうをたくさんのせたケーキと、画用紙を貼ってチョコのケーキが完成!!

ハンバーガーおっけい!



さかなグループ

「ハッピーセット屋さん!」「ジュース屋さん!」「ケーキがいい!」「おもちゃ屋さん!」と全員バラバラ…保「ハッピーセットにジュース、おもちゃ、ケーキがつくのは?」と話すと、「ポテトも作るからハッピーセットでいいよ」と嬉しい声が!でも「車作りたい!」と。保「ハッピーセットのおもちゃを車にしたら?」で、みんなで話し合い決定!保「どうやって作る?」と聞くと、「卵入れて、混ぜ混ぜしてレンジでチンする!」と(笑)正しいですよ(笑)紙皿や画用紙、お花紙たくさん組み合わせで完成しました!

3日目、うさぎ組のお店がオープンしました!前日心を込めて作ったもの達が店頭並びました!みんなでお金も一緒に作り、買いに行く人のお金、お店のお金を分け、行いました。店員さんになりきり「いらっしゃいませー!」「はい、おつりです!」などやりとりがたくさん聞かれています。お家の人と一緒に買い物に行くことで、お店の人の言葉もよく聞いているんだなと感じました。子ども達も大満足(^_^)

いらっしゃいませー!
ケーキ屋さんです!



アイスは
いかがですか?



はい、どうぞ!



自分の意見を話して、周りにいるお友達が聞いて、みんなで解決に向かうことは、まだうさぎ組さんには少し難しいこと。それでも間に保育者が入ることで、子ども達なりに相手の話を聞き入れ、考えを1つにまとめることができました。遊びを通して、思いを伝えることやイメージを形にすることができた活動であったと感じています。そして子どもの様々な発想が見られた活動でもありました。これからも遊びの中から子ども達の成長を見守っていきたく思います!